

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 てらびあぼけっと とよた教室

保護者等数(児童数) 26 回収数 26 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24			2	・集団用、個別用ときちんとスペースが用意されている。	12月の改装でスペースをコンパクトに、部屋数も増やした。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	22			4	児童1人につき1人と手厚く支援してもらえている。	4月に向けてスタッフを増員中。保育士が増えた。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21			5	・活動スペースはわかりやすいシンプルな作りでよい。使用していないスペースが今後、改装されてどの様になるか期待している。	12月に改装して活動しやすくなった
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	1		1	・活動ごとにスペースが区切られており、掃除もされて清潔に保たれていると思う。	掃除はこまめに行っている
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	25	1			・保護者のニーズも取り入れた計画を作成してもらえている。	モニタリングや日々のフィードバックをできるだけ反映させている
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	2		1	・ガイドラインを知らない	ホームページのご案内を行っていく
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26				支援計画の説明があり、フィードバックで毎回お話しがあります	スタッフへ共有しやすい環境を作る
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	3		3	・スペースが限られているなか、色々なプログラムを組んでもらえている。	教材を増やして対応
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		11	10	・障がいのない子との交流については不明	今後コロナ等感染症を踏まえ地域園に相談しながら検討していく予定。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	4			・運営会社が変わった際は書面での説明だったのでどちらとも言えない	入口に提示はしてあるが、まだ周知が足りない。表示の仕方などで工夫していく
保護者 への 説明 等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	1			説明の時間がありました	契約時にしっかり説明をする
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	9	6	4	日々のフィードバックで行っています	フィードバックに時間をかける工夫をしていく
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	2			・送迎時に支援員の方と話せるので、現状の把握や相談ができる。	フィードバックに時間をかける工夫をしていく
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2	2	1	日々のフィードバックで行っています	フィードバックに時間をかける工夫をしていく
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	16	6	父母の会をいずれ行って欲しい	今後行っていく予定
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	3	1	1	・なかなかゆっくりと相談できるタイミングがない。 ・タイミングがあればしっかり相談ののってもらえる。	公式LINE等で24時間対応出来る仕組み作りをしている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	1	1	・LINEやおたよりと様々な伝達手段が用意されていて良い。	公式LINEを活用
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20		3	3	・LINEでのお知らせも開始され活動内容を気軽に知れるようになった。 ・もう少しLINEを活用してほしい	公式LINEを活用していく
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	1			契約時に説明されました	ロッカーなど施設にて徹底

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	1	2	10	教室に提示されていました	分かりやすく提示する
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	2	16	・子どもたちも参加しての避難訓練があると良いなと思います	お子様のいる時間に行えるようなプログラムを作成する
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	4			・行くまでたまにしぶりはありますが行ってしまうは楽しめているようで、先生やお友達のことを嬉しそうに教えてくれることもあったり、表情が良いです。 ・通所前に自分から出かける準備をするくらい楽しんで通ってる	来ることを楽しみにして頂くようまずは外観から整え、お子様に楽しんで頂く教室を作っていく
	23	事業所の支援に満足しているか	25	1			・通って話せる言葉ややれる事がかなり増えた。熱心に支援してくれる支援員さんや職員の方々にはとても感謝している	研修に積極的に参加し、スタッフのレベルアップを図る
			445	41	44	68	74%	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 てらびあぼけっと とよた教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・スペースは適切である ・その子にあった部屋の大きさを使っている	・個室に窓がないので、今後改装予定
	2 職員の配置数は適切であるか	6	2	・人数が少ないときは、個別に入る時間をずらしている	・職員(個別療育できる)を増やす ・人材採用、人材育成
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	・事業所のルールなどを子どもにも分かりやすいように掲示している	・トイレ、職員室等の表示がないので今後改善
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	・玩具の消毒は各クールごとおこなっている ・清掃等こまめにおこなっている	・欲を言えば床暖を希望するが、費用が高い ・広すぎて、死角がある
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	・見直しをしている最中	個別に面談など行い意識を高める
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		・アンケートをもとに話し合いをしている	話し合いの時間を作るようにしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	今回初めてになります	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	・本部との連携	本部研修などにも参加したりSVの訪問の機会に相談している
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・本部研修、外部研修に参加	外部研修は積極的に参加
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		契約時、モニタリングで行われていました	しっかりとアセスメントの時間を確保している
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・本部のツールを使用	本部のツールの研修なども積極的に参加している
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		・モニタリングをもとに作成	相談員さんとも連携を取り設定
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		・プログラムを考える際は必ず確認し、立案している ・職員間で話し合っている	職員全員が確認し、反映させている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・職員全体で話し合っている ・プログラムについて話し合いの時間を設けている	時間を設ける
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・日々の様子を情報交換しながらかえていく ・各自工夫して取り組んでいる	いろいろな情報網を駆使して取り組む
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		毎回フィードバックで状況をおはなします	スタッフと児発管双方でしっかりと情報共有する
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	・毎朝職員間で確認している ・朝礼時に一日の役割を確認している	・業務に追われている、計画的に行う必要がある
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	・データシートで確認できる仕組み	・決まった時間を確保できていないので、支援後の時間の使い方を見直していきたい
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・ツールを使用	本部研修を積極的に受けてスタッフ全員が理解出来る仕組みにしていく 指導者も作っていく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		6ヶ月に一度必ず行っている	児発管が仕事に集中できる環境を作る	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	基本的には児発管が参加するようにしている	指導者を育て、スタッフ全員が精通出来るような仕組み作り
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2	連絡を取り合う	共有するために集まりなどにどんどん参加する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	該当児童なし	今後検討していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	該当児童なし	今後検討していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	保育園へ見学等行っていた	・保護者から要望があれば園訪問など行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	6	相談員さんを介して行っている	学校訪問など行う
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	・発達センターの研修等、参加している	研修の情報を貼りだしスタッフに共有する
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	今のところないが、今後検討して欲しい	今後検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	今後行っていきたい	今後検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々のフィードバックにより情報を得る	フィードバックの時間をしっかり確保
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	・フィードバックやセラピーノートを介して行っている	フィードバックの時間をしっかり確保	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	契約時必ず行っている	契約時に丁寧に説明
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		必ず説明をしている	契約書に明記してあるので必ず丁寧に説明をする
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・フィードバック時に、必要な時はお話している ・フィードバックやセラピーノートを介して行っている	こちらからも積極的に伺いし、話しやすい環境を作る
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	今のところないが、今後検討	今後検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・職員全員で相談内容を考え、対応している	必ず児発管へ報告し会社全体で話し合うように徹底
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・おたより、ブログ、LINEで発信している	LINEや貼りだしなどで保護者様の目に届くように
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		・鍵がついた金庫で保管している	鍵の管理は管理者が行う
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		研修等により	研修に積極的に参加
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	今のところないが今後検討	今後検討していく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		・半年に1度避難訓練を実施している	掲示、訓練を強化
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・半年に1度実施している	お子様も参加できる避難訓練を実施する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	2	・ご利用開始前に必ず確認している	てんかんをお持ちのお子様を全スタッフに周知 てんかん発生時の処置などを掲示
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	・しっかり把握できている	飲食提供無し
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	・事例を記入し、職員全員が確認している ・その日にあった事も含めて話し合っている	・もっと積極的に活用していきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	・毎年研修を行い、周知している	研修を頻繁に行っていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	身体拘束は行わない	身体拘束は生命に関わる事以外には行わない。 やむを得ず行った場合は報告書を提出